

米空母の放射性廃棄物搬出

「艦船出て行って」

が伝
ど宣
な川
党奈
産神
共

米海軍横須賀基地（神奈川県横須賀市）で原子力空母ジョージ・ワシントン（GW）から低レベル放射性廃棄物が搬出された10日、日本共産党三浦半島地区委員会と原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会など4団体は基地最寄りの京急汐入駅前で抗議の宣伝をしました。

党市議団の、ねぎしかずこ議員は、抗議するよう求めても応じない吉田雄人市政を批判。「何かあったら取り返しがつきません。米海軍の危険な作業に断固抗議します」と主張しました。三浦半島の地震発生確率が高まったことにも触れ、「GWには出ていってもらい、安心な横須賀をつくらしましょう」と訴えました。

搬出を知らせるピラを受け取った女性（46）は「GWは、いりません。放射能での病気が怖い。子どもたちの安全が守れるのか心配で

す」と話しました。基地で働いていた女性（81）は「すぐそこが住宅地。原子力艦船がいること自体がダメよ。横須賀港はいいところ。平和的に利用してほしい」と語りました。「基地の町だから複雑」という男性（67）は、ピラを読み「原子

力はいけない。事故が起きたら生活が壊される」と述べました。京急横須賀中央駅前でも市民団体が抗議行動をしました。